

北薩感染症情報

2024年第44週(10月28日~11月3日)

【問い合わせ先】 〒895-0041 薩摩川内市隈之城町228番地1

北薩地域振興局保健福祉環境部(川薩保健所)健康企画課

電話 0996-23-3165 FAX 0996-20-2127

E-メール kita-kenkou-shippei@pref.kagoshima.lg.jp

川薩・出水保健所における定点報告疾患

◎: 警報発令中 ○: 注意報発令中

定点種別	対象疾患	警報レベル			注意報レベル	川薩保健所管内					出水保健所管内				
		開始基準値	終息基準値	基準値	基準値	前週報告数(人)	今週報告数(人)	定点報告数	前週からの増減	警報注意報	前週報告数(人)	今週報告数(人)	定点報告数	前週からの増減	警報注意報
		定点報告数													
内科・小児科 定点	インフルエンザ	30.0	10.0	10.0		7	7	1.00	→	—	1	3	0.60	↗	—
	COVID-19	—	—	—		1	5	0.71	↗	—	10	1	0.20	↓	—
小児科定点	RS	—	—	—		—	2	0.50	↗	—	4	3	1.00	↓	—
	咽頭結膜熱	3.0	1.0	—		1	2	0.50	↗	—	3	2	0.67	↓	—
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	8.0	4.0	—		3	3	0.75	→	—	4	13	4.33	↗	—
	感染性胃腸炎	20.0	12.0	—		12	17	4.25	↗	—	9	5	1.67	↓	—
	水痘	2.0	1.0	1.0		1	—	—	↓	—	—	—	—	→	—
	手足口病	5.0	2.0	—		35	56	14.00	↗	◎	13	23	7.67	↗	◎
	伝染性紅斑	2.0	1.0	—		—	—	—	→	—	—	—	—	→	—
	突発性発疹	—	—	—		2	2	0.50	→	—	2	2	0.67	→	—
	ヘルパンギーナ	6.0	2.0	—		—	—	—	→	—	1	—	—	↓	—
	流行性耳下腺炎	6.0	2.0	3.0		—	—	—	→	—	—	—	—	→	—
眼科定点	急性出血性結膜炎	1.0	0.1	—		—	—	—	→	—	/	/	/	→	/
	流行性角結膜炎	8.0	4.0	—		2	2	2.00	→	—	/	/	/	→	/
基幹定点	細菌性髄膜炎	—	—	—		—	—	—	→	—	—	—	—	→	—
	無菌性髄膜炎	—	—	—		—	—	—	→	—	—	—	—	→	—
	マイコプラズマ肺炎	—	—	—		—	3	3.00	↗	—	—	2	2.00	↗	—
	クラミジア肺炎	—	—	—		—	—	—	→	—	—	—	—	→	—
	感染性胃腸炎 病原体がロタウイルスに限る	—	—	—		—	—	—	→	—	—	—	—	→	—
指定医療機関からの インフルエンザ入院報告	—	—	—		—	—	—	→	—	—	—	—	→	—	
指定医療機関からの COVID-19入院報告	—	—	—		—	—	—	→	—	1	1	/	→	—	
報告数合計	—	—	—		64	99	/	↗	/	48	55	/	↗	/	

<注意報・警報レベル>

- ・川薩保健所管内 手足口病(警報レベル)
- ・出水保健所管内 手足口病(警報レベル)

<全数報告>

- ・川薩保健所管内 結核1例
- ・出水保健所管内 なし

<インフルエンザ様疾患による学級閉鎖等>

- ・川薩保健所管内 なし
- ・出水保健所管内 なし

定点種別	疾病	警報/終息 基準値	注意報 基準値	川薩保健所管内推移 (定点報告数) 基幹定点(報告数掲載)									
				35W	36W	37W	38W	39W	40W	41W	42W	43W	44W
内科・小児科 定点	インフルエンザ	30.00/10.00	10.00	0.71	0.14	0.14	—	1.71	2.71	0.57	1.14	1.00	1.00
	COVID-19	—	—	5.29	2.29	1.00	0.29	1.00	0.57	0.14	0.14	0.14	0.71
小児科定点	RSウイルス感染症	—	—	1.25	—	1.00	0.75	—	0.75	1.25	0.75	—	0.50
	咽頭結膜熱	3.00/1.00	—	1.00	0.50	—	1.00	0.25	0.50	—	0.50	0.25	0.50
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	8.00/4.00	—	0.25	0.50	1.50	0.25	0.75	0.50	1.25	1.00	0.75	0.75
	感染性胃腸炎	20.00/12.00	—	3.50	3.75	5.50	3.25	4.75	4.75	5.25	3.25	3.00	4.25
	水痘	2.00/1.00	1.00	0.50	0.25	0.50	0.25	—	—	—	—	0.25	—
	手足口病	5.00/2.00	—	13.00	14.25	11.00	7.00	5.50	4.75	5.00	7.25	8.75	14.00
	伝染性紅斑	2.00/1.00	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	突発性発疹	—	—	0.25	0.50	0.50	0.25	—	0.25	0.50	0.50	0.50	0.50
	ヘルパンギーナ	6.00/2.00	—	1.75	0.75	0.25	0.25	—	0.25	0.25	0.50	—	—
	流行性耳下腺炎	6.00/2.00	3.00	—	—	0.25	—	—	—	—	—	—	—
眼科定点	急性出血性結膜炎	1.00/0.1	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	流行性角結膜炎	8.00/4.00	—	6.00	8.00	6.00	5.00	3.00	3.00	2.00	1.00	2.00	2.00
基幹定点	細菌性髄膜炎	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1.00	—	—
	無菌性髄膜炎	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	マイコプラズマ肺炎	—	—	1.00	—	—	—	—	—	—	—	—	3.00
	クラミジア肺炎	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	感染性胃腸炎 病原体がロタウイルスに限る	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—

定点種別	疾病	警報/終息 基準値	注意報 基準値	出水保健所管内推移 (定点報告数) 基幹定点(報告数掲載)									
				35W	36W	37W	38W	39W	40W	41W	42W	43W	44W
内科・小児科 定点	インフルエンザ	30.00/10.00	10.00	0.20	—	—	0.40	0.40	—	—	—	0.20	0.60
	COVID-19	—	—	5.20	2.40	4.00	2.20	3.20	3.00	3.00	1.20	2.00	0.20
小児科定点	RSウイルス感染症	—	—	2.00	1.67	0.67	3.33	2.00	0.67	2.67	2.33	1.33	1.00
	咽頭結膜熱	3.00/1.00	—	—	2.00	1.33	3.00	1.00	0.67	1.33	0.33	1.00	0.67
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	8.00/4.00	—	1.00	2.33	1.00	3.00	2.00	1.00	2.00	2.00	1.33	4.33
	感染性胃腸炎	20.00/12.00	—	0.67	2.67	—	0.33	0.33	0.33	2.33	1.67	3.00	1.67
	水痘	2.00/1.00	1.00	—	—	—	—	—	—	—	0.33	—	—
	手足口病	5.00/2.00	—	10.33	4.67	7.67	7.67	6.33	10.67	12.67	4.67	4.33	7.67
	伝染性紅斑	2.00/1.00	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	突発性発疹	—	—	—	0.67	1.33	—	0.33	1.00	—	0.67	0.67	0.67
	ヘルパンギーナ	6.00/2.00	—	2.33	3.33	4.33	—	0.33	0.33	1.00	—	0.33	—
	流行性耳下腺炎	6.00/2.00	3.00	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
基幹定点	細菌性髄膜炎	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	無菌性髄膜炎	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	マイコプラズマ肺炎	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	クラミジア肺炎	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	感染性胃腸炎 病原体がロタウイルスに限る	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—

第44週においては、両方の地域において手足口病とマイコプラズマ肺炎の報告数が先週よりも増えました。手足口病に関しては警報が続いています。この2つの感染症は飛沫感染および接触感染が主な感染経路ですので、それにあつた感染対策を行いましょ。インフルエンザ様疾患による学級閉鎖等はありませんでした。

冬になり、空気が乾燥すると、ウイルスが空気中に漂う時間が長くなり、感染の機会が増えてしまいます。部屋の中が乾燥しないようにするために、加湿器を利用する、部屋干しをする、浴室のドアを使用後に開けておくなど、様々な工夫がありますので、ご自身でもネットで調べてみましょう。



ルワンダ共和国においてマールブルグ病の発生が確認されました！

・接触感染

(血液媒介感染や性的接触等)
※自然界からの感染経路は明確になっていません

マールブルグ病とは...？

マールブルグ病とは、マールブルグウイルスを原因とする、ウイルス性出血熱のひとつです。最初に症例が確認された地名から「マールブルグ病」と称されるようになり、別名は「ミドリザル出血熱」とも呼ばれます。症状はエボラ出血熱に類似しており、発症後8～9日で死亡することがあります。対症療法以外の承認された特異的治療法やワクチンはありません。

原因病原体: マールブルグウイルス

症状: 発熱, 頭痛, 筋肉痛, 皮膚粘膜発疹等 → 激しい嘔吐, 水様性下痢

潜伏期: 3～10日 (2～21日)

ヒトヒト感染: あり (患者の体液, 排泄物などの汚染物との濃厚接触)

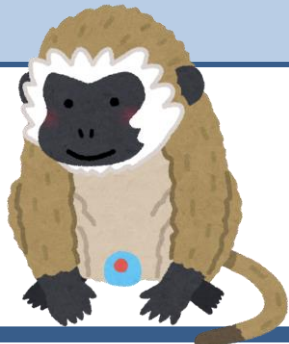
特徴: 全数把握対象疾患 (1類感染症) であり, 診断した医師は直ちに保健所に届出が必要。症状はエボラ出血熱に類似している。

オオコウモリがウイルスを持っており、洞窟などでオオコウモリの糞等に曝露した際に感染すると推定されています。



アフリカにおけるマールブルグ病の発生国は他に

- ・ウガンダ共和国
 - ・ケニア共和国
 - ・アンゴラ共和国
 - ・コンゴ民主共和国
 - ・南アフリカ共和国
 - ・ガーナ共和国
 - ・赤道ギニア共和国
 - ・タンザニア共和国
- が挙げられます。



ドイツのマールブルグに実験用としてアフリカミドリザルが輸入され、その研究員等が熱性疾患を発症したのが始まりです。

令和6年9月27日にルワンダ共和国でマールブルグ病が確認され、同年10月2日までに36人が感染(うち11人死亡)しました。同国に滞在した方で体調に異状がある方は検疫官へお知らせください。滞在中や帰国後に**疑わしい症状**が出現した場合には、**早めに医療機関を受診しましょう**。その際は滞在した国や症状をしっかりと伝えましょう。また、症状が現れていない方も、帰国後しばらくは健康観察をしっかりと行いましょう。

マールブルグ病が発生

ルワンダに滞在した方で体調に異状がある方は検疫官にお知らせください

マールブルグ病

【感染経路】

コウモリの排泄物を吸い込んだり、接触したときにうつる可能性あり。感染した人(遺体を含む)の血液や体液等に直接接触した際及び性的接触によりヒト-ヒト感染が生じる。

【主な症状】

- ・ 突然の高熱、強い頭痛、全身倦怠感、筋肉痛などの症状が現れる。
- ・ 3病日頃に重度の水様性下痢、腹痛、嘔気嘔吐が生じ、水様性下痢は1週間程度持続する。
- ・ 2～7病日目に無痛性の皮膚紅斑が見られた事例もある。
- ・ 多くの患者で5～7病日頃に出血症状が見られ、吐下血のほか、鼻腔、歯肉、静脈穿刺部等からも見られる。

【これまでの発生地域】

ウガンダ、ケニア、アンゴラ、
コンゴ民主共和国、南アフリカ、ガーナ、
赤道ギニア、タンザニア、ルワンダ

(現在、発生中)



ルワンダ

この病気に対する確立された治療法やワクチンは今のところありません。流行地域や動物(特にコウモリ)に近づかないことが重要です。感染した人の血液や体液、これらに汚染された可能性のあるもの、動物(死体を含む)に触らないでください。

詳しくは

検疫所ホームページ FORTH

FORTH マールブルグ病



→ → → <https://www.forth.go.jp/>

4類感染症

台湾においてデング熱が発生しました！

・媒介感染(蚊)

デング熱とは...？

デング熱とは、蚊に刺されることによって感染する疾患です。ウイルスに感染した患者を蚊が吸血すると、蚊の体内でウイルスが増殖し、その蚊が他者を吸血することでウイルスが感染します(媒介感染)。感染しても症状が現れない方もいます。

9月に台湾で発生したデング熱感染症例について、日本に滞在中に感染した可能性があります。蚊に刺されないように長袖・長ズボンの着用と忌避剤の使用を検討しましょう。

原因病原体: デングウイルス

症状: 突然の発熱・頭痛・嘔吐・関節痛→解熱後胸部～体幹に発疹

潜伏期: 2～14日(多くは3～7日)

ヒト-ヒト感染: なし

特徴: 蚊を介して感染する。冬を越えた卵はウイルスを保有していない(報告がない)ため、流行は一過性。



日本に生息する蚊(ヒトスジシマカ)の活動時期は5月中旬～10月下旬です。



・墓地 ・竹林周辺 ・庭の木陰
・茂みのある公園
がよく刺されるといわれています。

ヒトスジシマカの幼虫は植木鉢の受け皿や空き缶・ペットボトル、放置されたブルーシートや古タイヤに溜まった水などに発生します。成虫になった蚊は日中に活動するため、長袖・長ズボンの着用に留意し、忌避剤(虫除けスプレー)を使用しましょう。



感染症の運び屋 蚊 から

バリアーで身を守れ!!!

- やぶなどの蚊がいそうな場所に行くときは、肌を露出せず、虫除けスプレーを使用するなど、蚊に刺されないように注意しましょう!
- ジカ熱やデング熱の流行地に渡航する場合は、現地で蚊に刺されないように注意しましょう!

虫除け剤でバリアー



虫除け剤を使いましょう

服でバリアー



出かけるときは肌の露出が
少ない服装にしましょう

●なぜ対策が必要?

ジカ熱やデング熱は蚊を介して感染します。原因となるウイルスは、感染した人の血を吸った蚊(日本ではヒトスジシマカ)の体内で増え、その蚊がまた他の人の血を吸うときにウイルスを移し、感染を広げていきます。

●ジカ熱やデング熱に感染するとどうなる?

感染しても全ての人に症状が出るわけではありませんが、発熱や関節の痛み、発疹が出るといった症状が1週間ほど出ます。また、ジカ熱は妊婦が感染すると小頭症などの先天性障害をもった子どもが生まれたり、デング熱では出血を伴うデング出血熱となり重症化することがあります。



[ヒトスジシマカ]

背中に1本の白い線がある3~5mmほどの蚊で、5月中旬から10月下旬ころまで活動します。雑木林・竹林・藪・墓地・公園などに見られます。特に日中に活発に吸血します。活動範囲は50~100m程度です。

ジカ熱・デング熱に関する詳しい情報は厚生労働省のHPをご覧ください。

ジカ熱 厚労省 検索



デング熱 厚労省 検索



5類感染症

マイコプラズマ肺炎に注意しましょう！

・飛沫感染
・接触感染

マイコプラズマ肺炎とは...？

マイコプラズマ肺炎とは、肺炎マイコプラズマという細菌により、引き起こされる肺炎です。菌の排出は、症状が現れる2～8日前から始まり、その後4週間～6週間以上続くとされています。患者として報告されるもののうち、約80%は14歳以下ですが、成人の報告もみられます。家庭や学校などではヒトとヒトの接触が多く、感染が広がりやすいため、集団感染を防ぐためにも、日頃から感染対策を心がけましょう。

原因病原体:肺炎マイコプラズマ

症状:発熱、全身倦怠感、頭痛、咳

潜伏期:2週間～3週間

感染時期:一年を通してみられるが、冬にやや増加傾向

特徴:咳は長期にわたり続く(3週間～4週間)



COVID-19流行前までは3～7年間
程度の間隔で流行していました。



大人と比較すると、子どもの方が
症状は軽いと言われています。



感染しないようにするには...？

- ①流水と石けんで手を洗う
- ②家族内でもタオルの共有は避ける
- ②マスク着用を含む咳エチケットを遵守する



感染対策は
コロナと同じ
だね！



アルコール消毒効果あり!!!

5類感染症



新型コロナワクチンの定期予防接種が
始まりました！

・エアロゾル感染
・飛沫感染
・接触感染

新型コロナワクチンの定期予防接種とは...？

新型コロナワクチンの全額公費(無料)による予防接種は令和6年3月31日で終了しましたが、自治体による定期予防接種が10月から始まりました。対象の方は助成を受けられますが、予診票の受け取り方法や費用は各自治体によって異なりますので、詳細はお住まいの市町のホームページでご確認ください。



原因病原体: SARS-CoV-2 (新型コロナウイルス)

症状: 発熱, 咽頭痛, 鼻汁, 咳

潜伏期: 2~7日 (2~4日程度)

種類によって異なります

特徴: 発熱や咳がない方もいる。風邪との見分けが困難。

対象者: ①65歳以上の方

②60~64歳の一定の基礎疾患を有する方

期間: 毎年秋冬(今年度は令和6年10月1日~令和7年3月31日)

※医療機関によって実施期間が異なりますのでご注意ください

費用: お住まいの市町で異なります。

詳しくはお住まいの市町にお問い合わせください。



3月



Q. コロナ陽性になったら出勤や登校, 登園はしていいの？

A. 学校や幼稚園, 保育園, 職場に連絡しましょう。その指示に従ってください。

Q. コロナ陽性になっても外出していいの...？

A. 症状が現れてから5日目までかつ, 症状が軽快してから24時間程度は外出を控えること, 10日間はマスクを着用することが推奨されています。

Q. コロナについてはどの医療機関に行けばいいの...？

A. 指定されている医療機関はありません。インフルエンザと同等の扱いですので, かかりつけの医療機関やお近くの医療機関にご相談ください。



65歳以上の方などを対象に 新型コロナウイルスワクチンの 定期接種を実施しています。



新型コロナウイルス感染症とワクチンについて

- 新型コロナウイルスによって重症化する割合は、65歳以上で高く、重症化しやすいこの年代の方及びこの年代に近く一定の基礎疾患を有する方を対象に10月から定期接種を実施しています。
- 今年度は「オミクロンJN.1系統の株*に対応したワクチン」を使用します。

*JN.1系統の下位系統を含みます。



接種対象者

1

65歳以上の方

2

60～64歳で

心臓や腎臓、呼吸器の機能に障害があり身の周りの生活を極度に制限される方。

3

60～64歳で

ヒト免疫不全ウイルスによる免疫の機能の障害があり日常生活がほとんど不可能な方。

接種できる期間

10月1日～翌年3月31日

※自治体によって実施期間が異なる場合があるため、詳細は、お住まいの市町村(特別区を含む。以下同じ)にお問い合わせください。

接種できるワクチン

定期接種では、以下のメーカーのワクチンを接種できます。自治体や医療機関によって接種できるワクチンが異なる場合があるため、詳細は、お住まいの市町村にお問い合わせください。

定期接種では、以下のメーカーのワクチンを接種できます※順不同

mRNAワクチン

・ファイザー社・モデルナ社・第一三共社
・Meiji Seikaファルマ社(レプリコンワクチン)

組換えタンパクワクチン

・武田薬品工業社



各ワクチンの
特性等の詳細については
こちらをご確認ください。

定期接種を受ける方法・費用

- 定期接種はお住まいの(住民票のある)市町村で実施されます。
- 接種できる場所や費用についての詳細は、お住まいの市町村にお問い合わせください。

